

平成 23 年度御堂筋イルミネーション デザイン方針について

【デザイン概要】

昨年度好評だった、御堂筋の力強いイチョウの幹を活かした大阪のオリジナリティ溢れる世界に類を見ない「光の列柱」をブラッシュアップし、

- ・イチョウの枝に光を散りばめた「星屑エリア」
- ・桜色で表現した「冬の桜」
- ・5色の列柱がランダムに並び「5色ミックスゾーン」を継続する。

今年度延長する区間は新たな展開として、淡い「桜色」の列柱を基本に装飾する。

【ポイント】

○アンケート結果では、いくつかのデザイン要素が配置されていることが評価されていることから、今年度の 500m 延伸区間も、さらに楽しく歩けるようデザインに変化をつける。

○土佐堀通～中央大通は「秋のイチョウ」をイメージした「御堂筋イエロー」で装飾し、特に、高級ホテルなどが立地し御堂筋の新しい顔を演出する本町通～中央大通は「冬の桜」を想わせる装飾で華やかにアクセントをつける。

○平成 23 年度新規実施区間の南側（心齋橋付近）は「桜色」の列柱を基本軸として展開する。

《桜色の採用》

- ・平成 20 年度実証実験で「桜色」は「御堂筋イエロー」の次に人気が高かった色。
- ・加えて、桜は日本を代表する花の一つであることから、桜色は日本人に親しまれる色であると考えられる。
- ・また、心齋橋は華やかなエリアであり、南下するにつれ華やかさを期待させる「桜色」は相応しい。

○本町南ガーデンシティのイチョウは、被災地の復興を祈り、日の丸をイメージする「紅白」で装飾し、文字サインをつける。

※LED メッセージ (案) 『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』

→

←

ポスターコンペ実施（案）

※昨年同様、いいデザイン 100 プロジェクトの一環としてコンペを実施。

●実施方法

ポスターデザインのコンペを実施し、最優秀作品応募者と「ポスター」「バナー広告」のデザイン作成委託契約を締結する。バナーはポスターと関連するデザインとする。印刷は別途入札で業者決定。

●委託金額の上限（消費税除く）

250 千円（ポスター150 千円、バナー100 千円）※複数社見積の最低額

●応募資格

委託契約を締結することから事業者とする。

撮影スポットコンペ実施（案）

※昨年同様、いいデザイン 100 プロジェクトの一環としてコンペを実施。

●作品テーマ

前年と同じ「星屑のアベニュー」「応募者が御堂筋の景観の特性に応じてテーマ設定可」に「東北に行ってみたくなる作品（東北観光支援に資する作品）」を加える。

●入選作品数

5 作品程度（デザイン画で審査）

●制作謝金

1 作品 50 万円

●応募資格

- ・府内に営業所を有する事業者
- ・20 歳以上で府内に活動拠点を有する個人又は 20 歳以上の者が代表権を有するグループ（※学生等の応募可）



【検討経過】

○検討会委員の主な意見

- ・東北観光 PR に繋がるように。
- ・被災地の方（出身者、ゆかりの方）に作ってもらう。

○課題

- ・被災県大阪事務所ヒアリングの結果「被災県を疲労させない盛り上げ方を望む」「観光 PR したい」「長期的な支援の発信を望む」等との状況。
- ・御堂筋は屋外での長期設置のため安全性の確保など製作にあたり様々な条件があるためやる気のある人しか対応不可能（コンペ応募＝やる気あり）。
- ・東北で製作される作品を展示すること
⇒運搬の問題。安全性の確認・イルミ期間中の作品補修対応が困難。